

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その1) (単位:千円)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街						
重点課題	2	地球環境問題への対応と循環型社会の構築						
施策の基本方針	「環境首都・札幌」を宣言し、地球温暖化対策の推進や循環型社会の構築を目指して、新エネルギーの活用やバイオディーゼル燃料の普及促進を通じた温室効果ガスの排出削減に取り組みます。また、市民・事業者・行政が一体となって、ごみの発生抑制、再利用、リサイクルの取り組みや、市民一人ひとりが省資源、省エネルギーのための環境行動を実践するまちづくりを推進します。							
	計画事業の実施状況							
施策番号	事業名	計画事業費	実績事業費				合計	進捗率(%)
			19年度(決算)	20年度(決算)	21年度(決算)	22年度(予算)		
1	「環境首都・札幌」宣言事業	7,000	5,195	10,170	1,233	1,000	17,598	251.4
1	世界冬の都市市長会関連事業	43,000	16,449	4,901	8,479	5,000	34,829	81
1	CO ₂ 削減普及推進事業(エコライフ定着関係事業)	134,000	36,850	51,325	20,346	21,599	130,120	97.1
1	環境教育の推進	90,000	17,662	11,229	16,365	15,243	60,499	67.2
1	環境配慮型事業者支援事業	—	3,780	840	904	719	6,243	—
1	落葉から環境保全と地域交流事業(香りとみどりにあふれたまちづくり)〔南区〕	7,000	799	2,330	2,100	2,100	7,329	104.7
1	地球に優しいまちづくり支援事業〔西区〕	15,000	8,464	8,109	7,258	4,200	28,031	186.9
1	環境保全型農業支援事業	10,000	2,282	2,236	1,959	2,079	8,556	85.6
1	北海道の野生動物復元事業	671,000	6,382	102,064	162,332	3,043	273,821	40.8
1	円山動物園リニューアル事業	—	204,264	28,511	158,680	677,200	1,068,655	—
2	建築物環境配慮事業	33,000	2,109	6,110	2,888	5,203	16,310	49.4
2	都市再生プロジェクトエネルギーネットワーク構築事業費補助	766,000	108,186	296,882	265,082	37,010	707,160	92.3
2	風力発電事業推進	—	1,076	270	249	0	1,595	—
2	下水熱有効利用モデル事業	25,000	43,331	4,105	939	0	48,375	193.5
2	太陽光発電等設置モデル事業	52,000	10,268	14,868	13,785	0	38,921	74.8
2	札幌市次世代エネルギーパーク事業	21,000	7,470	8,458	924	2,000	18,852	89.8
2	メガワットソーラー共同利用モデル検討事業	—	1,936	5,429	27,698	223,504	258,567	—
2	札幌・エネルギーecoプロジェクト〔新エネ・省エネ機器導入への融資・補助制度〕	2,388,000	9,885	97,474	209,483	515,424	832,266	34.9
2	公共施設における省エネ・新エネ導入体系化推進事業	—	6,782	6,261	2,516	1,150	16,709	—
3	札幌市一般廃棄物処理基本計画の改定	—	4,229	115,017	155,516	130,917	405,679	—
3	家庭用廃食油資源化促進事業	10,800	0	992	1,200	0	2,192	20.3
3	ごみ減量アクションプログラム支援事業	48,000	12,586	12,983	16,245	12,356	54,170	112.9
3	定山溪地区生ごみ堆肥化推進事業	10,000	1,995	1,881	15,294	256,950	276,120	2761.2
3	新たな普及啓発拠点の整備(リユース広場)	77,700	3,750	106,450	0	0	110,200	141.8
3	中規模事業所ごみ減量推進事業	4,700	4,547	7,844	0	0	12,391	263.6
3	事業ごみのリサイクル処理推進事業	—	0	0	0	0	0	—
3	焼却灰リサイクル可能性調査	—	0	2,021	4,586	0	6,607	—
合計(計画事業費が「—」の事業は除く)		4,413,200	298,210	750,411	745,912	883,207	2,677,740	60.7

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その2)

政策目標		4	安全・安心で、人と環境にやさしい街				
重点課題		2	地球環境問題への対応と循環型社会の構築				
達成目標の状況							
施策番号	項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
1	[環境首都・札幌]「さっぽろ地球環境憲章」の策定	—	素案の策定	策定			策定 (20年度)
1	[世界冬の都市]市長会議参加都市数	29都市 (17年度)	22都市	—	18都市	—	30都市
1	[CO2]エコライフ行動レポートの集計に基づき試算されるCO ₂ 排出削減量	—	4,544t	18,077t	50,238t	60,000t	4万t
1	[環境教育]学校におけるエコライフ行動レポートの提出枚数(累計)	—	27,794枚	148,027枚	383,093枚	540,000枚	54万枚
1	環境配慮型事業者への支援プラン策定	—	—	策定			策定 (20年度)
1	[落葉から環境保全と地域交流事業]参加団体数(南区 累計)	2団体	5団体	10団体	14団体	15団体	15団体
1	[地球に優しいまちづくり]計画期間中の環境活動への参加者数(西区 19年度からの累計)	24,322人	14,293人	30,795人	46,305人	51,965人	36,500人 (H19~22 累計)
1	[環境保全型農業]堆肥の散布量(累計)	—	305.4t	607.2t	732t	1,032t	1,200t
1	[北海道の野生動物復元]オオワシ、シマフクロウの繁殖数	—	—	—	—	3羽	3羽
1	[北海道の野生動物復元]オオワシ、シマフクロウの放鳥数	—	—	—	—	3羽	3羽
1	[円山動物園リニューアル]基本計画の策定	—	素案策定	策定			策定 (19年度)
2	建築物環境配慮制度に基づく総合環境性能評価の提出件数(累計)	—	20件	72件	104件	204件	300件
2	札幌駅前通熱供給導管ピット整備	事業着手	構築工(杭)	土工	構築工(本体)	復旧工・完成	完成
2	[風力発電]事業主体となる事業者の選定	—	選定				選定 (19年度)
2	[下水熱有効利用]西区民・保健センターにおける二酸化炭素排出削減量	—	前システム比 47t削減	前システム比 約38t削減	前システム比 約28t削減	前システム比 約50t削減	システム導入前 に比べ50t削減
2	[太陽光発電等設置]学校への新エネルギー設備導入件数(累計)	7件	8件	9件	10件		10件
2	[次世代エネルギーパーク]構想を受けた整備計画の策定	—	構想策定	計画策定	—	—	策定 (20年度)
2	協働による市内1,000kW規模の太陽光発電所の設置(上記のうち市有施設への率先導入)(累計)	—	—	—	—	1箇所	1箇所
2	[ecoプロ]新エネルギー設備等の新規融資額	—	6百万円	1.6億円	2.2億円	5.5億円	10億円
2	[公共施設省・新エネ導入]指針に基づく省エネ・新エネ導入検討施設数(累計)	—	1カ所	86カ所	254カ所	450カ所	4カ所
3	[札幌市一般廃棄物処理基本]計画の改定	—	改定	推進	推進	推進	改定 (19年度)
3	[家庭用]廃食用油回収拠点数	43カ所	71カ所	192カ所	279カ所	300カ所	200カ所
3	[家庭用]廃食用油回収量	1,200ℓ/月	2,500ℓ/月	3,500ℓ/月	8,200ℓ/月	10,000ℓ/月	7,000ℓ/月
3	「さっぽろスリムネット」によるごみ減量実践活動への参加者数	7,049人	8,252人	11,343人	12,978人	20,000人	20,000人
3	[定山溪地区生ごみ堆肥化推進事業]参加事業者の生ごみ分別量	1.6t/日	1.9t/日	1.8t/日	1.6t/日	1.6t/日	3.2t/日
3	リユース広場(リユースプラザ)で市民に提供した家具等の個数	965個 (白石)	1,023個 (白石)	2,071個 (白石、厚別)	1,678個 (白石、厚別)	1,945個 (白石、厚別)	1,200個
3	[中規模事業所]ごみ減量・処理報告書の提出義務付け対象拡大	—	検討	実施	指導開始	継続	実施 (19年度)
3	[紙、プラスチック類、草木類廃棄物]排出状況調査	—	—	一部実施	実施		実施 (20年度)
3	[焼却灰のセメント原料への再利用]事業実現性評価	—	—	—	—	実施	実施

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その3)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街
重点課題	2	地球環境問題への対応と循環型社会の構築
主 な 取 組 内 容		
施策1	環境行動を実践する人と街づくり	
19年度(実績)		20年度(実績)
<ul style="list-style-type: none"> ●「環境首都・札幌」宣言市民会議を設置し、素案を作成 ●グリーンランドの首都ヌーク市で開かれた第13回世界冬の都市市長会議に会長都市として参加し、地球温暖化対策等について協議 ●さっぽろエコ市民運動、エコドライブコンテスト、環境情報誌「えこぼろ」発行等の各種啓発事業を実施 ●環境教育プログラム策定、小学生向け環境副教材改定等 ●事業者の環境配慮活動を評価する環境活動評価基準案を検討し、アンケート調査実施 ●落葉から堆肥への利用促進を図る落葉集積・配布及び堆肥化公園(5ヶ所)、落葉堆肥化の講習会等実施(5回)[南区] ●キャンドルナイトin琴似二十四軒(779名)、こども環境活動発表会(200名)の実施等[西区] ●環境保全型農業支援事業として、家畜排泄物を原料とする堆肥を農家に散布(5戸、305.4t) ●円山動物園で、現在飼育する猛禽類の保護小屋を設置(2棟)、エゾシカ・オオカミ舎完成等 		<ul style="list-style-type: none"> ●「環境首都・札幌」を宣言し市民意識を喚起するとともに、市民式典を開催し本市の姿勢を世界に向け発信した。 ●カナダ・プリンスジョージ市で開催された2008年実務者会議に参加し、環境問題小委員会を開催し、各都市の環境問題について協議した。 ●さっぽろエコ市民運動、エコドライブコンテスト、環境情報誌「えこぼろ」発行等の各種啓発事業を実施 ●環境教育校外学習用バス貸出(115台)、環境教育リーダーの追加養成(9名)、こども環境コンテストの開催等 ●環境配慮型事業者評価・登録制度を構築、運用開始 ●落葉集積・配布及び堆肥化公園等(8箇所)、講習会等(8回)[南区] ●ようこそ北海道洞爺湖サミットへ「エコまち西区deリレーイベント」(4事業、2176名)の実施等[西区] ●環境保全型農業支援事業として、堆肥の散布(新規5戸301.8t、延べ10戸907.2t)、新技術現地試験圃場の設置 ●円山動物園で繁殖小屋(2棟)、リハビリゲージ等の建設工事設計、園内ビオトープエリア造成、熱帯植物園解体
21年度(実績)		22年度(予定)
<ul style="list-style-type: none"> ●環境首都札幌推進協議会を開催 ●「環境首都・札幌」宣言メモリアル開催 ●エストニア・マールドゥ市で開催された第14回世界冬の都市市長会議に会長都市として参加し、地球温暖化問題等について協議 ●さっぽろエコ市民運動、エコドライブコンテスト、環境情報誌「えこぼろ」発行等の各種啓発事業を実施 ●環境教育校外学習用バス貸出(155台)、小中学校への環境教育教材の寄贈(29校)、こども環境コンテストの開催等を実施。 ●環境配慮型事業者登録制度「さっぽろエコメンバー」の定着を図るための支援策の検討等を実施。 ●「さっぽろ環境賞」第1回授賞式を開催 ●落葉集積・配布及び堆肥化公園等(5ヶ所)、講習会等実施[南区] ●「ごみダイエット・キャンペーン」、環境活動実践ゲーム作成、「公用車カーシェアリング実証実験」等を実施[西区] ●環境保全型農業支援事業として、堆肥の散布(新規3戸161.1t、延べ12戸732t)、新技術現地試験圃場の設置 ●円山動物園で繁殖小屋(2棟)、リハビリゲージ等を建設、エゾヒグマ館建設、新は虫類館新築工事実施設計等 		<ul style="list-style-type: none"> ●環境首都札幌推進協議会を開催 ●モンゴル・ウラルバートル市で開催される2010年実務者会議に参加し、事務局として会議運営を行うとともに、環境問題を協議する小委員会に参加。 ●引き続き、さっぽろエコ市民運動、エコドライブコンテスト、環境情報誌「えこぼろ」発行等の各種啓発事業を実施 ●環境教育校外学習用バス貸出(186台)、小中学校への環境教育教材の寄贈(29校)、こども環境コンテストの開催等。 ●環境配慮型事業者登録制度「さっぽろエコメンバー」の定着を図るための支援策の検討等。 ●第2回「さっぽろ環境賞」を開催 ●落葉集積・配布及び堆肥化公園等(4ヶ所)、講習会等実施[南区] ●「エコキッズプログラム」、「公用車カーシェアリング実証実験」等[西区] ●環境保全型農業支援事業として、堆肥の散布(新規5戸300t、延べ17戸1,032t)、新技術現地試験圃場の設置 ●円山動物園では、新は虫類館建設、アジア館建設設計、園内熱源転換整備等

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その4)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街
重点課題	2	地球環境問題への対応と循環型社会の構築
主 な 取 組 内 容		
施策2	省エネルギー、新エネルギーの普及促進	
19年度(実績)		20年度(実績)
<ul style="list-style-type: none"> ●建築物環境配慮制度の導入、運用開始(届出数20件) ●都市再生プロジェクトエネルギーネットワーク構築事業費補助として、札幌駅前熱供給導管ピット等の整備に対する補助実施 ●風力発電事業者を公募、決定。事業者による事前調査等の実施。 ●下水熱有効利用モデル事業として、システム完成。下水熱の暖房利用実証試験を開始。 ●太陽光発電等設置モデル事業として、前田中央小学校へ太陽光発電設置(5kW) ●札幌市次世代エネルギーパーク事業の構想策定(検討委員会4回実施) ●メガワットソーラー共同利用モデル検討事業の基礎調査実施(検討委員会実施) ●札幌・エネルギーecoプロジェクト発足、新支援制度(融資・補助)構築 ●公共施設における省エネ・新エネ導入体系化推進事業として、公共施設への省エネ・新エネ導入指針策定 		<ul style="list-style-type: none"> ●建築物環境配慮制度の運用、普及啓発等(届出数52件) ●都市再生プロジェクトエネルギーネットワーク構築事業費補助として、札幌駅前熱供給導管ピット等整備への補助を実施 ●風力発電事業実施に向け、事業者や関連機関との調整を進め、事業者が北電の風力発電募集に応募 ●下水熱有効利用モデル事業として実証事業により効果・課題等の検証を行うとともに、信頼性・維持管理向上のため設備改良を行った。 ●太陽光発電等設置モデル事業として、北郷小学校に太陽光発電設備(10kW)を設置 ●札幌市次世代エネルギーパーク事業の基本計画を策定 ●メガワットソーラー共同利用モデル事業を基に「札幌・サンサンプロジェクト事業」計画を策定 ●札幌・エネルギーecoプロジェクトによる新規の融資・補助を募集し、847件の支援を行った。 ●公共施設における省エネ・新エネ導入体系化推進事業として、「札幌市公共施設における省エネルギーの推進及び新エネルギーの導入要綱」を制定
21年度(実績)		22年度(予定)
<ul style="list-style-type: none"> ●建築物環境配慮制度の運用、普及啓発等(届出数32件) ●都市再生プロジェクトエネルギーネットワーク構築事業費補助として、札幌駅前熱供給導管ピット等整備への補助を実施した。 ●風力発電事業実施に向けて事業者・関連機関との調整を行った。 ●下水熱有効利用モデル事業は、実用段階となった。 ●太陽光発電等設置モデル事業として、常盤小学校に太陽光発電設備(5kW)を設置した。 ●札幌市次世代エネルギーパーク事業における、民間参画の手法を検討した。 ●「札幌・サンサンプロジェクト事業」計画に基づき、市役所本庁舎に太陽光発電設備を設置した(10kW)。 ●札幌・エネルギーecoプロジェクト事業による新規の融資・補助を募集し、662件の支援を行った。 ●公共施設における省エネ・新エネ導入体系事業として、「要綱」の運用を行い、省エネ・新エネ導入の普及促進活動を行った。 ●木質バイオ燃料の活用による地球温暖化の防止及び環境産業の育成に向けた調査を行った。 		<ul style="list-style-type: none"> ●建築物環境配慮制度の運用、普及啓発等 ●都市再生プロジェクトエネルギーネットワーク構築事業費補助として、札幌駅前熱供給導管ピット等整備への補助を実施 ●風力発電事業実施に向けた事業者・関連機関との調整 ●札幌市次世代エネルギーパーク事業における、民間参画の手法を検討 ●「札幌・サンサンプロジェクト事業」計画に基づき、札幌ドームに太陽光発電設備を設置(90kW) ●札幌・エネルギーecoプロジェクト事業による新規の融資・補助を募集 ●公共施設における省エネ・新エネ導入体系事業として、「要綱」の運用を行い、省エネ・新エネ導入の普及促進活動を実施。 ●木質バイオ燃料の活用による地球温暖化の防止及び環境産業の振興に向けた実証調査などを実施

平成21年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その5)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街				
重点課題	2	地球環境問題への対応と循環型社会の構築				
主 な 取 組 内 容						
施策3	みんなで進めるごみ減量、リサイクル					
19年度(実績)			20年度(実績)			
<p>●「スリムシティさっぽろ計画」素案を公表し、3か月間のパブリックコメントや223回開催した市民意見交換会などで延べ8,367人の参加を得て、3,848人から意見が寄せられ、この意見を踏まえ計画を変更・追加し、平成20年3月に計画を策定した。</p> <p>●「さっぽろスリムネット」の平成19年度事業への参加者数は延べ9,889名に上った。また、ごみ収集車7台などへのBDF使用を開始するなど、各プロジェクトにおいて、ごみ減量事業を展開した。</p> <p>●4回の協議会を実施し、延べ73名の市民・事業者の参加を得て、地域合意の基に「定山溪地域バイオマスタウン構想」を策定した。定山溪地区の生ごみ597tが堆肥化され、これを同地区の7軒の農家が活用して農作物を生産した。生産した農作物は、同地区で開催する「エコ収穫祭(来場者811名)」で市民に提供され、7つのホテル等において食材として活用された。</p>			<p>●「スリムシティさっぽろ計画」を新ごみルール説明会などで周知するとともに、この計画で掲げたごみ減量・リサイクル施策の実施に向けて、「雑がみ」のモデル実験事業や生ごみリサイクルパートナーシップモデル事業を行い、地区リサイクルセンターを設置し、共同住宅のごみステーション対策強化などを行った。</p> <p>●「さっぽろスリムネット」会員である市民・事業者の意見に基づき、各プロジェクトにおいて、様々なごみ減量実践活動を展開し、延べ参加者数は11,343名に上った。</p> <p>●廃食油回収拠点を192か所に拡大するとともに、廃食油リサイクルについてチラシ・のぼりの作成配布を行った。</p> <p>●生ごみ堆肥の活用拡大に向け、農業試験場に生ごみ堆肥の試験を委託し効果が確認できた。</p> <p>●厚別清掃工場跡地に新たに「リユースプラザ」を整備した。</p> <p>●中規模事業所へのごみ分別・リサイクル指導を推進するため、データベースシステムを構築し、分別ガイドを作成した。</p>			
21年度(実績)			22年度(予定)			
<p>●スリムシティさっぽろ計画推進</p> <p>・家庭ごみの有料化、雑がみ及び枝・葉・草の分別収集開始などの新たなごみルールを7月から実施し、ごみ減量・リサイクルをさらに推進した。</p> <p>・町内会などが自主的に収集した生ごみを資源化施設で堆肥化する生ごみリサイクル・パートナーシップ事業を行った。</p> <p>・共同住宅の排出マナー改善に重きを置いたごみステーションに関する制度変更を周知徹底を行った。</p> <p>・ごみステーション管理支援事業として、7月からの家庭ごみ有料化に備え、20年10月に発足した「さっぽろごみパト隊」を本格的に配置した。</p> <p>●「さっぽろスリムネット」各プロジェクトにおいて、様々なごみ減量実践活動を展開した。</p> <p>●廃食油回収拠点を279カ所に拡大するとともに、廃食油リサイクルについてチラシ、のぼりの作成配布を行った。</p> <p>●農家・農協・堆肥化事業者などで構成する札幌市バイオマスタウン推進協議会を設立し、定山溪地域バイオマスタウン構想を推進した。</p> <p>●大・中規模事業所に対し、事業ごみ指導員が、約5,000件の「紙ごみ」の分別、「生ごみ」減量等の普及指導を行った。</p>			<p>●スリムシティさっぽろ計画推進</p> <p>・町内会などに対し、環境美化や地域パトロールに関する用品提供や管理器材の購入助成を実施。</p> <p>・町内会などが自主的に収集した生ごみを資源化施設で堆肥化する生ごみリサイクル・パートナーシップ事業を実施。</p> <p>・地域におけるごみステーションの適正使用を支援するため、引き続きごみパト隊によるパトロール、指導を実施</p> <p>・生ごみ水切り宣言や堆肥化の普及推進など市民が自ら行う生ごみ減量行動を支援する。</p> <p>・雑がみの選別処理の改善(選別ライン整備、第2雑がみセンター建設調査)や段ボールを集団資源回収へ誘導するため奨励金の増額(1円/kg⇒4円/kg)を実施。</p> <p>●「さっぽろスリムネット」各プロジェクトにおいて、様々なごみ減量実践活動を展開していく。</p> <p>●廃食油リサイクルについて普及啓発を行っていく。</p> <p>●引き続き定山溪地域バイオマスタウン構想を推進するとともに、定山溪地区内で生ごみ堆肥化施設の建設が予定されており、施設整備が円滑に行われるよう支援を行う。</p> <p>●新大規模建築物への指導の継続及びテナント(小規模事業所)へのきめ細やかな指導を展開する。</p>			
主 な 施 設 、 サ ー ビ ス の 整 備 水 準						
施設(サービス)名	18年度末(現状)	19年度末(実績)	20年度末(実績)	21年度末(実績)	22年度末(予定)	22年度末(目標)
該当なし						

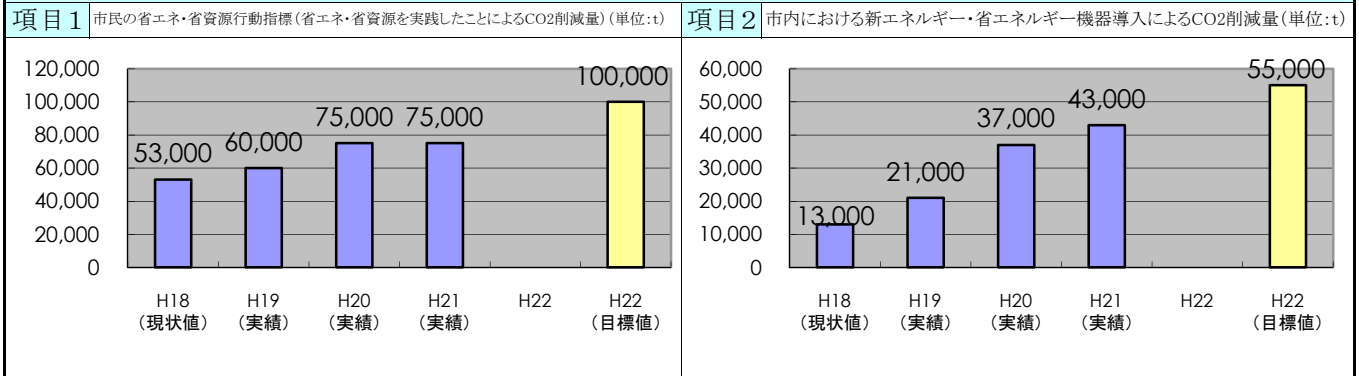
平成22年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その6)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街
重点課題	2	地球環境問題への対応と循環型社会の構築
評価(成果)		課題
施策1	環境行動を実践する人と街づくり	
<ul style="list-style-type: none"> 「さっぽろ地球環境憲章」等を作成し、市民の環境意識を喚起するとともに世界に向け発信した。また、冬の都市市長会での取組は本市の環境問題に対する積極姿勢のPRにつながり、市民の環境意識を高める一助となっている。 「さっぽろエコ市民運動」等、エコ行動の実践を促すための事業を体系的に進めた。また、「環境コンテスト」など環境教育推進を図るため各種事業を体系的に進めてきた。 事業者の環境配慮活動を促すための誘導策として、「さっぽろエコメンバー」制度を構築し、運用を開始した。 地域に優しいまちづくり支援事業(西区)では、環境活動を通じた市民参加の促進を図った。落葉から環境保全と地域交流事業(南区)では、花壇作りを通じ地域内・世代間交流が活性化し、落葉処理費用削減にもつながった。円山動物園のエゾシカ・オオカミ舎では、食物連鎖を通じた身近な環境問題についての普及啓発ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民へ「さっぽろ地球環境憲章」等を浸透させ、環境行動の定着につなげていく必要がある。また、冬の都市市長会では活動のPRを通じて地球温暖化問題等に取り組む本会への市民の関心をさらに高める必要がある。 学校や市民団体、及び環境教育関連施設等との連携を強化し、環境保全活動、環境教育の推進につなげる必要がある。 「さっぽろエコメンバー」を定着・拡充を図るとともに、さらなる事業者支援策を検討・実施する必要がある。 地域に優しいまちづくり支援事業(西区)では、次世代のこどもの環境教育やCO2削減の区全域へ波及するような具体的な取組が必要がある。また、落葉から環境保全と地域交流事業(南区)では、安価で耐久性のある施設の改良が必要となっている。 円山動物園では、今後必要な施設建設等に向け、企業等との協働を視野に入れた予算計画の検討や、新施設を活用した環境教育・レクリエーションプログラムの検討が必要である。 	
施策2	省エネルギー、新エネルギーの普及促進	
<ul style="list-style-type: none"> 計画事業はほぼ予定どおり進捗しており、その結果、市民・事業者の省エネルギーや新エネルギーの普及が促進し、目標に向けて順調にCO2削減が進んでいる。 風力発電、次世代エネルギーパーク、公共施設における省エネ・新エネ導入体系化推進の各事業は平成20年度で目標を達成、太陽光発電等設置モデル事業も平成21年度で目標を達成した。 メガワットソーラー共同利用モデル検討事業は、「札幌・サンプロジェクト事業」として、市民・事業者・札幌市の協働により目標規模1,000kWを達成した。 札幌・エネルギーecoプロジェクトは、事業者・金融機関との協働により、省エネルギー・新エネルギー機器導入を支援する融資・補助制度を創設、その普及促進を図り、想定どおりCO2を削減した。 	<ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー、新エネルギー機器のさらなる普及促進のために、支援制度の拡充や市民要望を踏まえた制度の見直しなどが必要である。 公共施設への率先導入は、市民・事業者を含めた市全体の省エネルギー、新エネルギー普及促進に向けた重要な取り組みのひとつであることから、より効果的な事業実施を図るため、財源の確保とともに事業手法についても検討を進める必要がある。 すでに目標を達成している事業や達成が予定されている事業についても、さらなる事業推進のために、今後は関係機関との調整や事業手法の検討が求められる。 	
施策3	みんなで進めるごみ減量、リサイクル	
<ul style="list-style-type: none"> 「スリムシティさっぽろ計画」(平成20年度策定)の普及啓発を新ごみルール説明会などで行った。「新ごみルール」以降、前年度同時期(7-3月)と比較し、家庭から出る廃棄ごみは35.3%減、リサイクル量は2.3倍と大幅なごみ減量、リサイクル効果が認められた。またごみ減量が最終目標の46.2万tに迫る効果が見込まれることから篠路清掃工場の運転を休止した。このほかに生ごみリサイクルパートナーシップモデル事業と雑がみ分別収集モデル実験事業を実施。各清掃事務所に「さっぽろごみパト隊」を配置した。 廃食油回収拠点を279カ所に拡大し平成21年度には97,809ℓ回収することができた。 「さっぽろスリムネット」が平成21年度に実施した事業への参加者数は延べ12,978名に上った。 「定山溪地域バイオマスタウン構想」を策定、平成21年度は289トンの堆肥を同地域の農家などが活用し作物を生産、イベントで提供されたほか、ホテル等で活用された。生ごみ堆肥化施設は平成22年度に民設民営により整備予定。 	<ul style="list-style-type: none"> 「スリムシティさっぽろ計画」で掲げた施策を円滑に実施するため、適切な進行管理を実施していかなければならない。特に、雑がみの収集量が想定を上回る量となり、主要古紙類の混入も想定以上に多かったことから雑がみ選別能力を向上させていく必要がある。 今後バイオディーゼル燃料は軽油混合が主力となるため、混合燃料活用に係る課題に対応する。また廃食油、BDFの計画的な流通体制の構築と廃食油のバイオディーゼル燃料以外の活用の検討が必要となる。 札幌市の事業とスリムネットの事業の境界が曖昧となっているため、事業内容を精査し、市民・事業者との協働で進めることができる事業を検討していく必要がある。 定山溪地区については、バイオマスの安定的な確保や生ごみ堆肥のさらなる利用促進と生ごみ堆肥を利用して生産される作物のさらなる利用推進が必要となる。 	
今後の重点取組		
<ul style="list-style-type: none"> 本市では、市民生活と関わりの深い民生(家庭・業務)及び運輸部門からのCO₂排出量が全排出量の大部分を占めていることから、市民一人一人に対し環境行動の定着を図ることが非常に重要である。今後、さらに学校、企業、市民団体等との連携を深めながら「さっぽろエコ市民運動」をはじめとする各種啓発事業を実施することにより、市民、事業者等による環境行動の取組の環を広げ、「環境首都・札幌」の実現を目指していく。 市民、事業者向けの省エネルギー・新エネルギー機器のさらなる普及促進のために、支援制度の拡充や制度の見直しを行う。また、普及を加速するために、市民にわかりやすい情報提供を行う。 市民、事業者と情報を共有し、協働してごみ減量・リサイクルの推進に努め、篠路清掃工場の廃止が確実なものとなるよう「スリムシティさっぽろ計画」に掲げた施策を確実に実施していく。 		

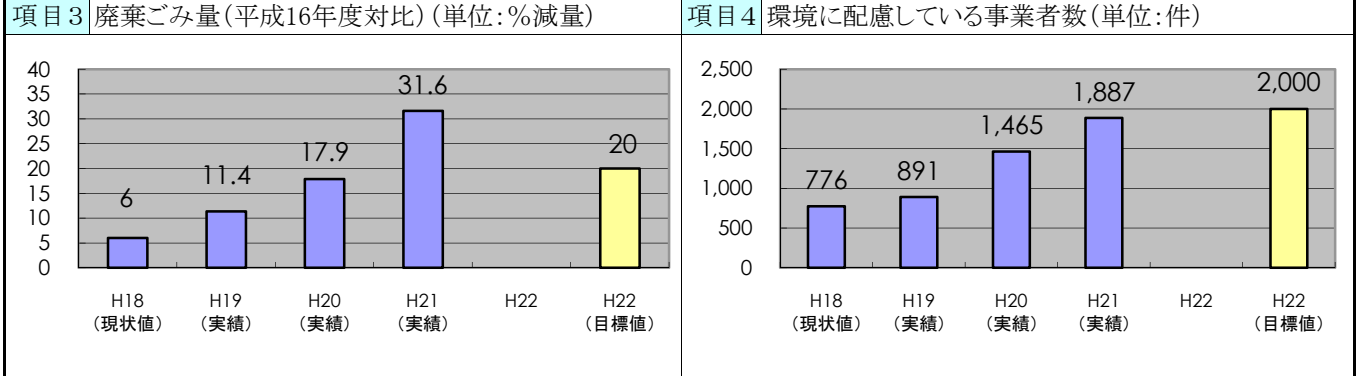
平成22年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その7)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街
重点課題	2	地球環境問題への対応と循環型社会の構築

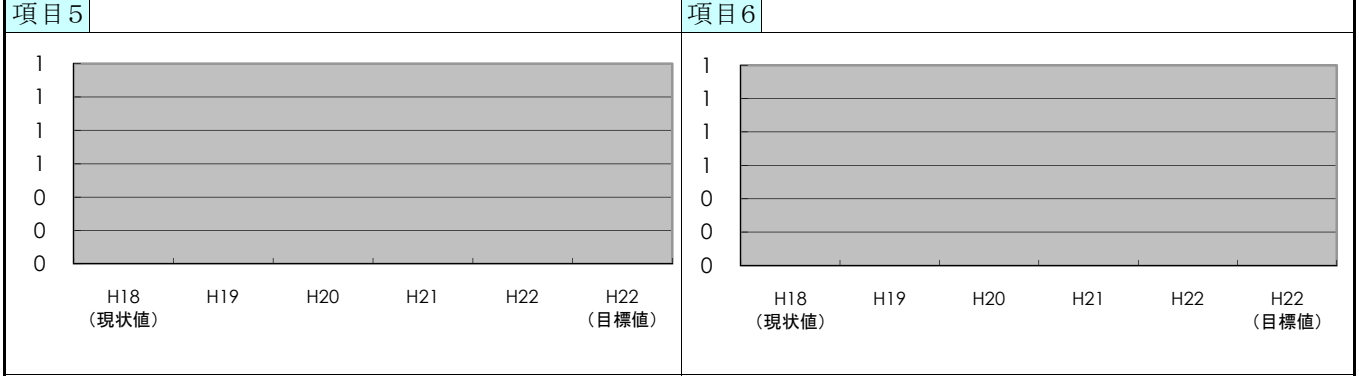
成果指標等の動向



<p>【実績値の推移に係る検証】 さっぽろエコ市民運動の浸透等で着実に推移している</p>	<p>【実績値の推移に係る検証】 市民・事業者への経済的支援等の成果で順調に推移している</p>
---	--



<p>【実績値の推移に係る検証】 新ごみルールの効果でH29の最終目標値の達成にまで至った</p>	<p>【実績値の推移に係る検証】 道庁、商工会議所等との連携強化で順調に推移している</p>
---	--



<p>【実績値の推移に係る検証】</p>	<p>【実績値の推移に係る検証】</p>
----------------------	----------------------

成果指標等から見た重点課題の評価

4つの指標とも、目標値に向け数値を伸ばしており、重点課題の達成に向け概ね順調に推移していると思われる。